

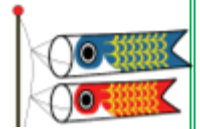
むくのきだより

5月号

平成31年4月26日

港区立赤羽幼稚園

園長 宮崎 直人



様々な行事等を通じて育つ子供たち

園長 宮崎 直人

新緑が美しい季節になりました。吹き抜ける風が心地よく感じる今日このごろです。園庭では、鯉のぼりが五月の風に力強く泳いでいます。

子供たちが、入園・進級して約3週間になりました。4月のはじめ頃は、新しい環境に緊張している子もいましたが、新しいクラスでの生活に日に日に慣れてきています。

さくら組は、登園時の挨拶が、上手にできるようになってきました。大きな声で「おはようございます」と言えたり、挨拶の後におじぎをしりすることができるようになりました。しっかりと話を聞いて行動することができることも増えてきました。園生活にも慣れてきて、砂場や園庭で元気に遊ぶ姿が見られます。

ゆり組は、上級生として、様々な役割を担っています。さくら組の友達が入園してきたことで、とても張り切ってお世話をしていました。誕生会の司会や当番活動では、一人一人が自分の役割を意識して、大活躍しています。お兄さん、お姉さんとして、さくら組に優しく遊びを教える姿も見られます。上級生という自覚をしっかりともっていて、頼もしいです。

4月は、さくら組の子供たちを迎える様々な行事がありました。入園式では、少し緊張しながらも、さくら組は入園する喜びを、ゆり組は、さくら組を迎える喜びを感じていたのではないかと思います。

15日(月)には、「なかよしになる会」を行いました。ゆり組がさくら組をリードして丁寧に接する姿に、ゆり組とさくら組の関わりのよさを感じました。

19日(金)には、今年度初めての誕生会がありました。子供たちは誕生会を楽しみにしていて、うきうきした気分で登園していました。4月生まれの子供たちも、お祝いする子供たちも、皆笑顔で、温かな会になったのではないかと思います。

また、25日(木)には、親子遠足にご参加いただき、ありがとうございました。天候が心配でしたが、皆様のご協力のおかげで、予定していた活動を行うことができました。

子供たちは、いつもとは違う環境に、みんなとても張り切って遊んでいました。親子で一緒に踊っているときの子供たちの嬉しそうな笑顔、探検で魔法使いを見付けたときの歓声、散策のときにゆり組の子供たちが、さくら組の子供たちと手をつないで一緒に歩く姿も微笑ましかったです。たくさん遊べて、子供たち同士、保護者の方同士も仲よくなることができたのではないかと思います。

幼稚園では、これからも、様々な活動を通して、身近な自然や人に積極的にに関わり、豊かな人間関係を築き、思いやりのある心を育むことができるよう、保育を進めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

